



実践クラブ
馬渡 光春 議員

問 国保事業

- Q** 4月から県が財政運営の責任主体となるが、
- ①** 県への納付金決定までの経緯は？
- ②** 市の国保税への影響は？
- ③** 事業の広域化の課題と改正の効果は？

- A** ①医療費等推計し、国の追加公費の確定係数と市の情報で本算定を行い決定。
- ②納付金や標準保険料率で被保険者負担を検討し、予算を編成。新年度は繰入金が約1億8500万円減少した。
- ③適正な保険料率で財政収支の健全化や事務の標準化による事務の効率化などがある。

問 スポーツの振興

- Q** ①スポーツ大会の島原市への効果は？スポーツ・観光・物販の連携

- が必要では？②施設の整備計画やテナス場増設の検討は？合併特例債の利用は？③小・中学生の全国・九州大会の出場費の補助制度の創設は？

- A** ①平成28年度は156大会、14万3千人で地域経済に効果がある。連携を効果的に広がるよう取り組みたい。②施設整備は公共施設等総合管理計画の個別計画で対応。テナス場増設は施設概要や周辺自治体の整備状況や経費等を研究した。総合整備計画との整合性が必要である。合併特例債は建設事業では充当可能。③大会出場に要する経費の一部を補助している。他市に劣る点もあるかもしれないが、子育て支援等の制度も含め、総合的に持続可能な取り組みが必要だ。少額だが増額して上程している。

問 学校給食

- Q** ①野菜等の急騰による給食への影響は？
- ②給食費の未納状況と対策、一食あたりの経費は？

- A** ①栄養価を考え、代替えや冷凍野菜を使用して、コストを削減した。
- ②平成28年度で42件約112万円、平成24年以前が65万円。一食あたり経費+材料費で472円かかる。



市民平和の会
草野 勝義 議員

問 島原市の働き方改革

- Q** ①市職員の長時間労働の改善と②庁舎午後8時消灯の実現を。

- A** ①長時間労働は様々な悪影響を及ぼすのでワークライフバランスを実現するために職場環境の改善に取り組みたい。②消灯時間の設定は一つの考えだが、部署ごとに繁忙期が異なる場合等もあるので、時間外勤務縮減を取り組みたい。

- Q** 誰もが働きやすい島原市を目指して、本市の全事業所で働き方改革を推進してほしい。

- A** 国の法整備の動向を注視しながら周知に努めたい。

問 正規労働者と非正規労働者の待遇格差対策

- Q** 雇用形態を無期雇用化するなどキャリアアップの道を広げては。

- A** 常勤職員の採用は競争試験が原則。非常勤職員から常勤職員への転換は考えていない。

問 子どもたちの健康

- Q** ①野菜価格高騰で学校給食に影響は出ないか。②青果の納入方法は。

- A** ①栄養価を損なわない範囲内で野菜を変更するなどの対応をしている。②調理場ごとに青果業者を割り振り、交代で納入いただいている。

- Q** 県内のフット素指導の実施状況は。

- A** 小学校が100%、中学校が19%。

- Q** 中学生までインフルエンザの補助を。

- A** 財政状況や県内各地の実施状況等を見ながら検討したい。

【その他の質問項目】

- ◇事前に登録した人の住民票の写しや戸籍謄本などを代理人や第三者に交付した場合に、交付した事実について登録者本人に通知する本人通知制度の導入について
- ◇白ナンバーの個人自家用車を使い、有償で客を輸送するライドシェアの合法化に反対姿勢を表明すること